

# 市民ネットワークの 市議会速報

小西由希子(中央区) 高野はるみ若葉区) 常賀かづ子稲毛区)  
長谷川ひろ美(花見川区) 福谷章子緑区) 山口晴美(湯浅美和子美浜区)

編集発行：市民ネットワーク  
千葉市中央区中央 4 -10-11 Te043-201-2551 Fax043-223-7701  
<http://www.chibanet.gr.jp/kaiha/>

## ネット提出の意見書(案)は 不採択に

山口晴美

harumi YAMAGUCHI



今年最後の市議会は議長・副議長の辞任、新たに 2役の選出で初日から難航しました。議場に国旗・市旗を掲揚することを求めた議会 3会派からの決議(案)と、男女共同参画ハーマニー条例の運用にあたりこれまでの社会の制度や慣例を尊重することを求めた請願は取り下げとなり、ほっと一安心。しかし、常任委員会の傍聴を求めた市民団体の陳情は採択されませんでした。ネット提出の意見書(案)は不採択。こんな大事なときに、イラクに自衛隊を送らないように千葉市から意見を出さなくていいのでしょうか？

### ネットが提出した意見書

「国連中心の平和的な復興支援体制が整うまでは、イラクに自衛隊を派遣しないことを求める意見書(案)」  
「児童擁護施設の職員配置基準の見直しを求める意見書(案)」

## 四街道市との合併

千葉市民はどう考えるか

高野はるみ

harumi TAKANO



合併協議会は、11月の第 5回で協議項目がすべて整い、わずか 8ヶ月のスピード協議となりました。鶴岡市長は「期限を定めず」十分な協議をするとしていましたが、11月の会議では、総額 1040億円の新市建設計画、財政計画、四街道市議の任期など、提案後に強行とも取れる採決を行い、会場が騒然としました。「合併で千葉市は影響を受けない」と言いますが、建設計画の総事業費は将来の千葉市の財政にとって大きな負担となりデメリットとなります。

また、千葉市域に住民合意の必要な清掃工場を建設することなど、市民に周知もされず問題です。今後四街道市の市議選、住民投票を経て、16年の 5月頃に合併協定書の調印が予定されています。千葉市でも説明会など開催し、市民の意見を聞くべきです。皆様からも合併協議会へ意見をお寄せください。

(合併協議会ホームページ <http://www.chiba-yotsukaido.jp>)

### 今議会の主な議案

- ・一般会計補正予算 21億 9100万円(生活保護費・乳幼児医療費助成・母子福祉資金貸付金の増加、学校給食センター調理委託債務負担行為設定など)
- ・千葉市職員の給与の改定(- 0%) 期末手当の引き下げ(35月 325月) 退職手当の引き下げ
- ・下水道使用料・農業集落排水処理施設使用料の引き上げ
- ・当せん金付証券(宝くじ)の来年度の発売額(74億円以内)
- ・千葉市大宮給食センター PF事業契約(15年間で約 85億円)

## 福鳳雄会の児童養護施設 の問題について

長谷川ひろ美

hiromi HASEGAWA



子どもの虐待問題は社会的な問題となっています。千葉市内でも虐待通告件数がここ数年急激に増えており、様々な事情から親と離れた多くの子ども達が、児童相談所の一時保護施設や児童養護施設に保護されています。このような社会的ニーズに応える形で花見川区に今年 4月から社会福祉法人鳳雄会による乳児院と児童養護施設、児童家庭支援センターがオープンしました。

しかし、開所後 7月に行われた市の指導監査で、この施設の運営をはじめ会計処理において多くの問題が指摘されました。児童福祉の現場であってはならない問題に対して、その後市長が暖かく見守ってほしいとの発言をしたり、11月には担当課も概ね改善されたと判断していると新聞報道されたように、市に危機感を感じる事ができません。そこで議会で何点が質問し要望しました。

- 1、市場価格より高額な取引をしたものについては調査し、寄付金として還元すると法人が回答したが、寄付ではなく返還し責任の所在を明確にするよう指導することを求める。
- 2、法人は前養護施設長を降格配置転換し、1理事が3つの施設長を兼務している。専門性や経験も豊かな前施設長は運営についての疑惑を厳しく指摘しており、これが原因での降格は明らかである。子どもたちや職員も納得していないと聞くので調査し、強く指導することを求める。

\*\*\*この問題について現在市民団体より請願が議会に出されており、閉会中に審議されます。また署名も行われています。詳しいことは市民ネット事務所まで。



## 地域福祉の計画づくりが いよいよスタート!

常賀かづ子  
kazuko TSUNEYOSHI

誰でも住み慣れた地域の中で、障害の有無や年齢にかかわらず、自分らしく安心して暮らし続けたいものです。そのためのしくみを住民参加、当事者主体でつくるのが「地域福祉計画」です。策定にあたっては各区に4つの地域フォーラムを設け、1フォーラム約25人(うち高校生を含む4人市民公募)の委員で構成され、さらに区地域福祉計画策定委員会を設置するそうです。若葉区では先行してH16年1月にフォーラムを立ち上げるため、12月5日に市民公募もされました。他区ではH16年3月公募予定とのことですが、実効性のある計画にするためにも公募枠にとらわれず多くの市民が参加できる場を設定してほしいものです。

## ますます厳しい千葉市の財政状況

今年度の財政見通しが今議会で明らかにされました。高い失業率の影響で個人市民税が伸びず、市税収入が当初予算に比べ25億円も減り、前年度と比べると67億円も減収し来年度はさらに下回るといわれています。

一方、歳出では債務負担行為の償還金や新施設の維持管理費の増加が見込まれ極めて厳しい財政状況です。そのため市では各局が主体的に取り組むための予算枠を拡大したり、新5カ年計画や重点7分野以外の事業については昨年度比80%にさだめるなど、従来の予算編成を改める方針を出しました。しかし、表に見えないところで公共施設の運営管理費や修繕費が減額され、市民サービスの質が低下したり、耐震補強対策などが先送りされているのではないかと指摘しました。



小西由希子  
yukiko KONISHI

条例等に基づいて、審査や諮問を受ける付属機関等に属する会議のうち、公開されるものは、区役所・市政情報室市ホームページにて広報されています。

しかし、懇談会・協議会など、これに属さない会議も多くあります。「会議は原則公開」と言われていますが、付属機関等に属する会議以外は、多くの場合公開について諮られることもなく開催されています。また、公開が認められた会議についても周知が不十分なため、多くの市民は会議そのものがあることも、またいつ開催されるかもわからず、傍聴したり議事録に目を通すこともできません。

市政への市民参加と協働の視点から、ぜひすべての会議が公開について諮られるべきです。公開される会議開催にあたっては、できる限り周知してほしいと強く要望しました。

## まちづくり

~手を上げなきゃ、始まらない!~



福谷章子  
shoko FUKUTANI

都市計画マスタープランづくりが、いよいよ市民参加で始まりました。

このプランは「全体構想」と「地域別構想」から成っていますが、11月には、千葉市全域にわたる「全体構想」の素案が示されてパブリックコメントが行われ、22件の意見が寄せられました。しかし、千葉県の構想、千葉市の総合計画、そのもとでの各種基本計画に沿わねばならず、市民の独自性は発揮できません。

一方、「地域別構想」は、住民主体で作る、地域発のまちづくりの構想です。市が準備している「やってみようまちづくり制度」を利用して、アドバイザーの派遣や出前講座を受けたり活動助成を使い、地区計画や建築協定、緑地協定などが結べます。ただし、自ら手を上げないと、絵に描いた餅。都市計画課 (tel:245-5305) に積極的に問い合わせ、市民自らの手で、まちづくりをやってみよう!

今議会中の経済教育委員会では、来年4月からの、こてはし・若葉学校給食センターの調理業務の民間委託と、大宮学校給食センター(仮称)のPF事業としての契約が審議されました。民間委託については平成8年より行革推進項目に位置づけられ検討されてきたものです。

「低コストでより良いサービス」を目指すのが行革で、経費削減だけがクローズアップされるのは考えもの。PFの入札評価でも、衛生・安全については問われても「食の質」などを問う部分はありません。今のセンター方式給食の問題点を捉え、それが改善されるのか、また口にする子どもたちや保護者の意見が反映されるよう指摘し、議案には賛成しました。

## どどんすすむ?! 学校給食民間委託

湯浅美和子  
miwako YUASA

